「2011年8月1日より2012年7月31日までに川崎医科大学で経尿道的レーザー前立腺核出術（HoLEP）を受けられた患者さんへのお知らせ」

「「AMS GreenLight® HPS」を用いた前立腺蒸散術（PVP）と経尿道的前立腺切除術（TURP）ならびにホルミウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）の医療コストに関する後ろ向き比較研究」に関する後方視的研究について

当教室では、2012年8月1日より2012年7月31日までに、川崎医科大学において経尿道的レーザー前立腺核出術（HoLEP）を施行した患者さんについて、入院期間中に要した医療コストを解析するために後方視的研究を実施することとし、倫理委員会より研究を行うことの承認を得ました。

本研究の目的は、前立腺肥大症に対する外科的治療法である経尿道的切除術（TURP)、HoLEP ならびにレーザー蒸散術（HPS-PVP）との比較として社会的観点からも重要なポイントである治療に伴う医療コストの評価を行い、今後の臨床現場に役立てることです。この研究の結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。本研究は、カルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報を抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。しかし、本研究の対象となる患者さんは、ご自身に関するデータの発表の機会を拒否することができます。
この研究は学内研究費のみを使用する研究でありますが、アステラス製薬、アストラゼネカ、キッセイ薬品工業、グラクソ・スミスクライン、ファイザー、旭化成ファーマ、小野薬品工業、大鵬薬品工業から学術助成金を受領しています。このことについては事前に本学の利益相反委員会へ申告し、適正に管理されています。
何かご不明なことがありましたらいつでも遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談ください。

本研究についてのお問い合わせ先
担当者：泌尿器科学　准教授　宮地　禎幸
電子メール: miyaji@med.kawasaki-m.ac.jp
TEL：086-462-1111 (PHS　44505)
FAX: 086-462-1199